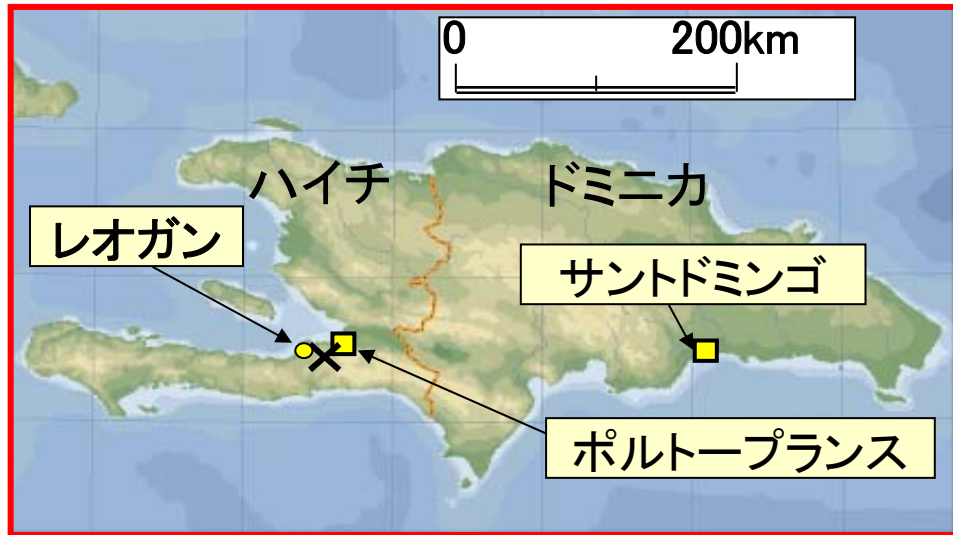


# ハイチにおける自衛隊部隊の PKO活動について

平成22年2月9日

防 衛 省

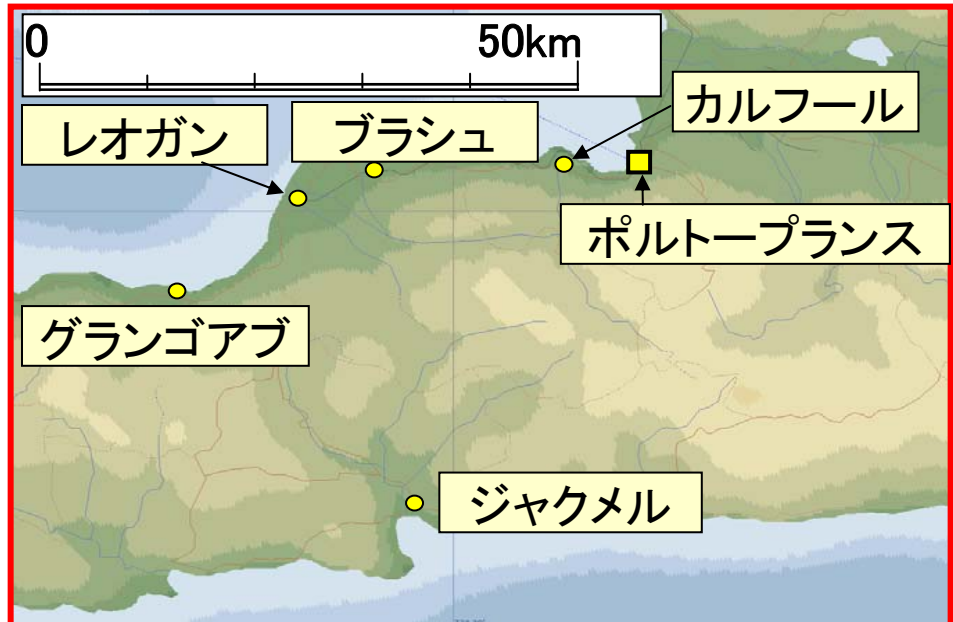
## ハイチ地震被害状況等



### 【被害状況等:2月4日現在】

- ◇ 死者:20万人以上
- 負傷者:25万人近く
- ◇ 家屋喪失:80万~100万名
- ◇ 要食糧援助:200万名
- ◇ 被災者:370万名(総人口961万名)
- ◇ 電気・水道:停止。電話:制限
- ◇ 道路:諸処損壊

- ◇ ポルトープランス国際空港:使用可(混雑)
- ◇ ポルトープランス港:一部使用可



### 【治安状況】

- ◇ 国連PKO (MINUSTAH)、米軍及び警察が治安維持に努力
- ◇ 全般に安定。一部で暴力行為、食糧の略奪等が発生
  - ※ ドミニカ~ハイチ間も要注意

### 【衛生状況】

- ◇ 全般に不良

## 1 経緯

ハイチにおいては、2000年の選挙を巡り、情勢が悪化。アリスティッド前大統領に反対する暴徒や組織犯罪集団等によるハイチ国内の政治的・社会的混乱が生じたため、2004年6月、ハイチ情勢安定化のため、安保理決議に基づき、国連ハイチ安定化ミッション(MINUSTAH)が設立された。

## 2 任務

- ① 安全かつ安定的な環境の確保(警察・沿岸警備隊への支援等)
- ② 政治プロセス支援(選挙の支援等)
- ③ 人権(人権促進・人道状況の監視及び報告等)

## 3 各国の派遣概要(2009年11月現在)

- ・ 47カ国より約9000名(軍事要員約7000名、警察要員約2000名)
  - ※ 派遣元の上位5カ国と人数は、ブラジル1283名、ネパール1244名、ウルグアイ1136名、ヨルダン1053名、スリランカ961名
- ・ ほか、国内外より計約1900名の文民、国連ボランティアが参加

## 国際連合ハイチ安定化ミッション(MINUSTAH)への派遣の経緯

- 1月13日(水) ハイチにおける大地震発生
- 1月19日(火) 国連安保理決議1908によりMINUSTAHの増員が決定  
爾 後 国連事務局により各国へ部隊派遣の要請
- 1月25日(月) 国連事務局に対し自衛隊施設部隊の派遣の用意がある旨意思表示  
同 日 防衛大臣より各幕僚長等に準備指示の発出
- 1月27日(水) 3名の調査チーム(内閣府PKO事務局1名含む)の派遣
- 1月29日(金) 国連事務局より自衛隊施設部隊の派遣について正式要請
- 2月 5日(金) 「ハイチ国際平和協力業務実施計画」等について閣議決定  
同 日 「ハイチ国際平和協力業務の実施に関する自衛隊行動命令」発出

### 国連安保理決議(1908)の内容

- ハイチ大地震による全ての被災者と家族に深い同情と連帯を表明し、事態の深刻さと緊急の対応の必要性を認識。
- 当面の復旧・再建・安定化努力を支えるためMINUSTAHの全体規模を増員するとの事務総長の勧告を支持。
- 軍事部門の要員数を2,000人増の8,940人、警察要員を1,500人増の3,711人とすることを決定。

### 国連の要請と我が国の意思表示

- 国連は
  - ① 警護を実施する歩兵部隊
  - ② 瓦礫の除去、道路補修等を行う施設部隊
  - ③ 大型輸送ヘリコプターについて各国に派遣を要請。(1月19日)
- 我が国として、上記②の施設部隊(約190名)と同部隊を支援する要員(約160名)を派遣する用意がある旨通知。(1月25日)
- 国連より我が国の申し出に感謝し、これを喜んで受け入れたい、可能な限り早期に派遣して欲しいとの回答。(1月29日)

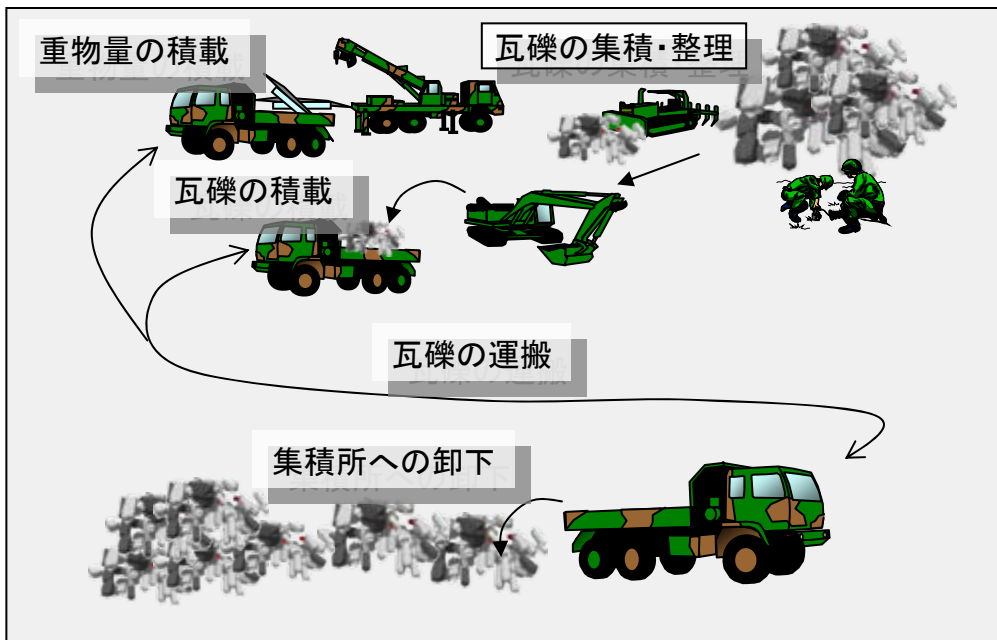
※ 日付は全て日本時間

# ハイチ派遣国際救援隊の概要

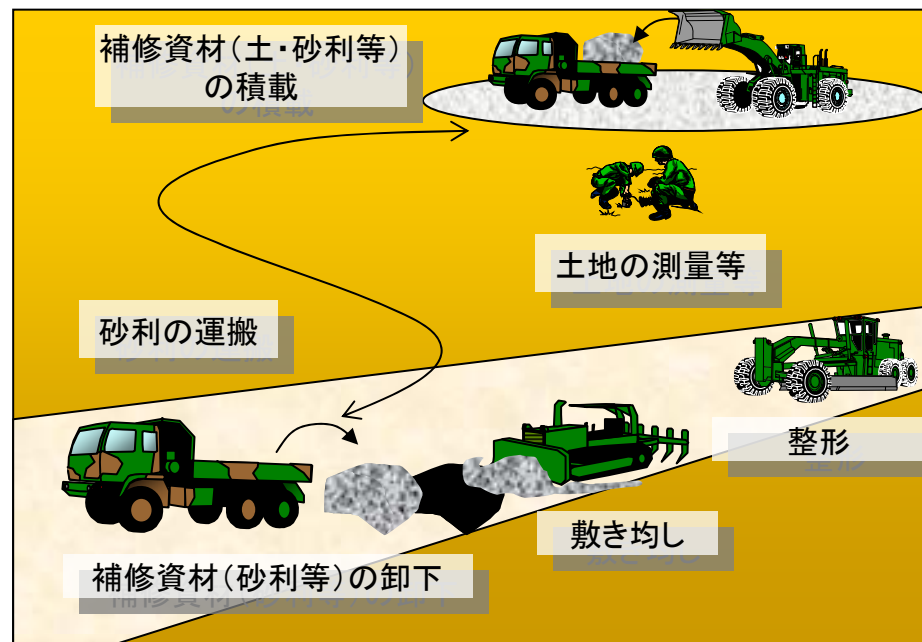
- 種類： 施設部隊(工兵)  
規模： 約350名 (うち国連要員約190名、自隊支援要員160名)  
装備： 車両約150両を予定  
武器： 護身用武器(拳銃・小銃・機関銃)  
活動内容： 瓦礫除去、被災民キャンプ建設用地の整地、道路補修、軽易な施設建設等  
活動地域： ポルトープランス周辺  
活動期間： 平成22年2月5日から平成22年11月30日まで

(※) 国連からの要請である6ヶ月間に撤収作業期間(3ヶ月程度)を加えたもの。

## 【瓦礫の除去作業のイメージ】



## 【整地のイメージ】



## 活動拠点の位置(ポルトープランス市内)

- MINUSTAHに参加している各国軍等の合同宿営地の近接地
- ブラジル、チリ、エクアドル等の部隊、WFP(国連世界食糧計画)など駐留
- 空港から南東5km(車で10分。モンケット地区。)
- 市中心部からみると郊外、治安安定
- 本部が地震により倒壊したMINUSTAH司令部も移転予定との情報あり



## 派遣部隊の規模及び装備等について（実施計画に規定）

### ○ハイチ派遣国際救援隊（約350名）

車両：約150両 拳銃：54丁 小銃：305丁 機関銃：7丁

※ 車両内訳：ドーザ・油圧シャベル等施設機材約40両、トラック・トレーラ約90両、軽装甲機動車等20両



中型ドーザ



油圧ショベル



軽装甲機動車



89式小銃



5.56m機関銃(MINIMI)

### ○海上自衛隊輸送部隊（約540名） 輸送艦1隻、補給艦1隻及び護衛艦1隻（当面の展開では活動せず）



輸送艦



補給艦



護衛艦

### ○航空自衛隊輸送部隊（約200名）C-130H 2機、U-4 1機、KC-767 1機、政府専用機1機



政府専用機



C-130H



U-4



KC-767

※ C-130H輸送機1機、U-4は当面本邦待機。KC-767は現在運用試験中、運用態勢確立後本邦待機。

# 自衛隊部隊の展開と編成について

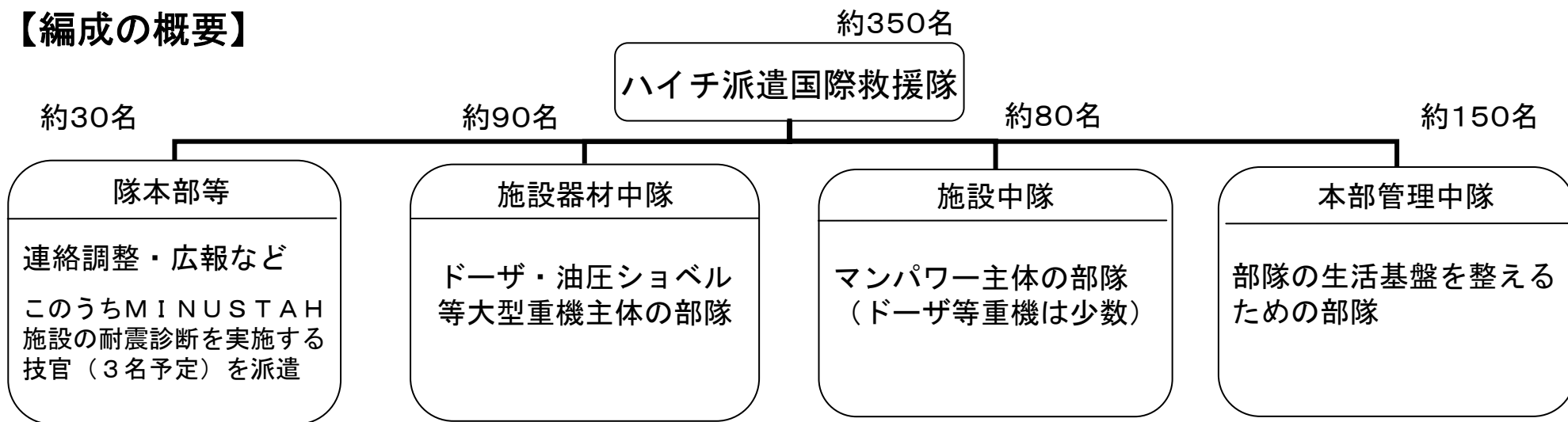
## ○ 1次要員の展開

- ・ ハイチ地震災害の復旧支援という性格から迅速な展開が必要。（国連から2週間での展開要請。）
- ・ 緊急展開が可能な中央即応集団の要員（約200名）を1次要員として派遣。
- ・ 1次要員は現地到着後速やかに施設活動を開始しつつ、宿営地の造成を実施。

## ○ 2次要員の展開

- ・ 活動の主力となる北部方面隊では、装備の緊急取得、緊急整備等により準備期間を短縮。
- ・ 輸送機・民間船舶のチャーターにより、命令発出後約1ヶ月程度を目途に現地に向けて出発。
- ・ 爾後、順次1次要員と交代しつつ本格的な施設活動を実施。

## 【編成の概要】



主要  
装備



中型ドーザ



油圧ショベル



グレーダ



バケットローダ



## 司令部要員等及び国際平和協力手当について

- 部隊派遣以外の要員の派遣について
  - ① 司令部要員(2名) : MINUSTAH司令部にて国連要員として勤務
  - ② 連絡調整要員(5名) : 自衛隊部隊とMINUSTAH等関係機関との連絡調整を実施
- 国際平和協力業務の手当額(政令に規定)

### 国際平和協力手当の額(日当)

業務	地域の区分			額(円)
陸上部隊 司令部要員	ハイチ	西県	ポルトープランス	1万6千
			その他	1万2千
		その他		
連絡調整要員	ハイチ	西県	ポルトープランス	6千
			その他	5千
		その他		
空輸部隊	ハイチ	ポルトープランス		4千
		その他		3千
		ドミニカ共和国		
海上輸送部隊	ハイチ	LCAC艇業務	ポルトープランス	4千
			その他	3千
		その他		

# これまでの自衛隊の行動及びこれからの予定

## ○人員について

- 6日夜 政府専用機等で約160名が日本を出発
- 7日昼 約160名 米国フロリダ州到着
- 8日01:15 空自C-130H輸送機にて34名がポルトープランス入り(現地7日11:15)
- 残りの隊員も、順次、ポルトープランス入り

## ○重機等について

### ・第1便

- 9日(火)夜 民間輸送機(アントノフ)にて成田発
- 11日(水) ドミニカ共和国着
- 爾後、陸路にてハイチ入り
- 残余の重機等は民間輸送機(アントノフ)にて随時輸送(予定2便)

## ○活動の開始について

- 準備が整い次第、早ければ今週中にも活動開始
- (具体的な時期・内容は現在MINUSTAHと調整中)

